

## 平成 20 年 6 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 5 月 14 日

上場会社名 株式会社 福山コンサルタント 上場取引所 JQ  
 コード番号 9608 URL <http://www.fukuyamaconsul.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報担当常務取締役 (氏名) 柴田 貴徳 TEL (092) 471-0211  
 (百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 6 月期第 3 四半期の業績（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 6 月期第 3 四半期	1,524	5.4	△379	—	△378	—	△236	—
19 年 6 月期第 3 四半期	1,446	9.7	△393	—	△392	—	△266	—
19 年 6 月期	5,055	0.4	222	16.3	224	10.6	102	10.8

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 6 月期第 3 四半期	△55	81	—	—
19 年 6 月期第 3 四半期	△62	64	—	—
19 年 6 月期	24	03	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 6 月期第 3 四半期	5,400	2,537	47.0	597	47		
19 年 6 月期第 3 四半期	5,009	2,488	49.7	585	85		
19 年 6 月期	3,915	2,854	72.9	672	08		

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 6 月期第 3 四半期	△2,136	△206	1,149	471
19 年 6 月期第 3 四半期	△2,133	△48	1,161	474
19 年 6 月期	249	△39	△38	1,665

### 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円	銭	円
19 年 6 月期	—	12 00	12 00
20 年 6 月期（実績）	—	—	10 00
20 年 6 月期（予想）	—	10 00	—

### 3. 平成 20 年 6 月期の業績予想（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	5,200	2.9	230	3.3	230	2.4	110	7.8	25	90

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- (3) 会計監査人の関与 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。  
なお、上記予想に関する事項は、添付書類の4頁を参照してください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰に加え、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の下振れリスクの拡大とこれを背景としたドル安・円高により、輸出産業を中心に業績に対する懸念が広がるなど、予断を許さない状況で推移しています。

建設コンサルタント業界においては、ガソリン税の暫定税率問題や道路特定財源の一般財源化問題への対処について与野党の議論が活発化し社会資本整備関係予算の先行きが不透明になるとともに、その影響も手伝って業界内では技術・価格競争が激化するなど、経営環境は厳しさを増しています。

このような状況の中、平成19年7月、第2次長期プラン(平成20年6月期～25年6月期の6年間)をスタートさせ、「基本は技術」、「福山オリジナル」の行動指針のもと、受注の拡大と品質の確保を最重要課題として、業績の向上に取り組んでいます。

平成20年1月には、南九州事業部立ち上げに向け熊本市において新社屋建設に着手しました。さらに同年4月には、長崎営業所を開設し、沖縄県を除く九州7県すべてに事務所・営業所の設置を完了するなど、第2次長期プランに基づく地域展開と営業ネットワークの拡充等を進めています。

## (1) 受注高

国土交通省からのプロポーザル方式(技術提案による評価方式)による交通計画・道路設計業務の受注が好調に推移したことや、強化を図った東日本事業部環境グループ(平成19年4月新設)関連業務およびCM系業務の新規案件受注が順調に進んだことから、当第3四半期受注高は6,141百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

	受注高 (百万円未満切り捨て)	
	百万円	%
20年6月期第3四半期	6,141	(12.6)
19年6月期第3四半期	5,455	(1.6)

(注) 前期からの繰越業務を含んでいます。

## (2) 売上高・経常利益等

売上高は好調な受注に支えられ1,524百万円(前年同期比5.4%増)となり、経常損失は14百万円改善し△378百万円、四半期純損失も29百万円改善し△236百万円となりました。

当社の特性として、官公庁の会計年度末に完了・納入する業務が過半を占める関係上、売上高は第4四半期に集中します。そのため、例年第3四半期までは経常損失、第4四半期で経常利益となることが常態となっています。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況

## (資産)

総資産は、前事業年度末と比べ1,485百万円増加し、5,400百万円となりました。

増減の内訳は、現金及び預金の減少1,193百万円、未成業務支出金の増加1,873百万円、完成業務未収金の増加544百万円、などが主なものです。

なお、平成20年1月、熊本市に熊本事務所建設用地を117百万円で取得しました。

## (負債)

負債は、前事業年度末と比べ1,802百万円増加し、2,863百万円となりました。

増減の内訳は、短期借入金の増加1,200百万円、未成業務前受金の増加520百万円、賞与引当金の増加202百万円、などが主なものです。

## (純資産)

純資産は、前事業年度末と比べ316百万円減少し、2,537百万円となりました。

増減の内訳は、四半期純損失△236百万円、配当金50百万円、などが主なものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

現金および現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べ1,193百万円減少し、471百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

使用した資金は2,136百万円(前年同期は2,133百万円の使用)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益△350百万円、未成業務支出金の増加額1,873百万円、法人税等の支払額109百万円の使用によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

使用した資金は206百万円(前年同期は48百万円の使用)となりました。

これは主に、熊本事務所建設用地購入及び技術用・管理用コンピューターの購入を中心とした有形・無形固定資産の取得による支出203百万円の使用によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

獲得した資金は1,149百万円(前年同期は1,161百万円の獲得)となりました。

これは主に、運転資金として短期借入金1,200百万円の調達と、配当金50百万円の支払によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年4月に入り、ガソリン税の暫定税率失効、その再可決、さらに道路整備財源特例法改正案の再可決と、国会審議の動向に目が離せない状況が続いてきましたが、当面の政策の方向性が決まったことによって、業務環境にも落ち着きがみられるようになると思われます。しかしその間、歳入不足の懸念から国や自治体の新年度公共事業は発注延期や凍結の事態となるなどの影響が出ています。

平成20年度については、暫定税率再可決を受けた予算執行に基づき、徐々に事業が再開されていくものと予想されますが、技術力による受注競争の激化と、工期短縮を踏まえた業務処理の効率性確保等が喫緊の課題になると認識しています。また、次年度以降の道路特定財源の一般財源化に向けた閣議決定を受けて、今後とも広範な動向注視と慎重な情勢判断を進め、環境変化に即応した経営を進めていく所存です。

当第3四半期末では受注高が前年同期に比べ12.6%増の6,141百万円を確保し、これを受けて平成20年6月期業績予想については前期を上回る決算に向けて順調に推移しています。ただし第4四半期の発注状況による影響は避けられないと想定されますので、現時点においては、平成19年8月9日付「平成19年6月期決算短信」で発表しました通期の業績予想について変更はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) (要約) 四半期貸借対照表

科 目	前年同四半期末 (平成19年6月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年6月期 第3四半期末)	増減		〈参考〉前期末 (平成19年6月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	474,614	471,739	△2,874	△0.6	1,665,710
2. 完成業務未収金	627,026	677,880	50,854	8.1	132,919
3. 未成業務支出金	1,876,290	2,150,390	274,100	14.6	277,368
4. その他	220,537	211,930	△8,606	△3.9	48,591
貸倒引当金	△12,180	△2,625	9,555	△78.4	△11,550
<b>流動資産合計</b>	<b>3,186,288</b>	<b>3,509,316</b>	<b>323,028</b>	<b>10.1</b>	<b>2,113,040</b>
II 固定資産					
1. 有形固定資産	1,353,201	1,474,429	121,228	9.0	1,354,681
2. 無形固定資産	34,993	36,705	1,711	4.9	40,973
3. 投資その他の資産	440,738	386,183	△54,555	△12.4	412,591
貸倒引当金	△5,800	△5,800	—	—	△5,800
<b>固定資産合計</b>	<b>1,823,133</b>	<b>1,891,517</b>	<b>68,384</b>	<b>3.8</b>	<b>1,802,447</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,009,421</b>	<b>5,400,833</b>	<b>391,412</b>	<b>7.8</b>	<b>3,915,487</b>

(株)福山コンサルタント (9608) 平成20年6月期第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

科 目	前年同四半期末 (平成19年6月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年6月期 第3四半期末)	増減		〈参考〉前期末 (平成19年6月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 業務未払金	366,868	407,818	40,949	11.2	201,529
2. 短期借入金	1,200,000	1,200,000	—	—	—
3. 未払金	65,829	78,519	12,689	19.3	112,198
4. 未払法人税等	12,521	12,866	344	2.7	105,575
5. 未成業務前受金	451,010	695,049	244,038	54.1	174,732
6. 業務損失引当金	16,667	24,964	8,297	49.8	18,730
7. 賞与引当金	112,465	202,398	89,933	80.0	—
8. その他	53,385	60,099	6,714	12.6	216,422
<b>流動負債合計</b>	<b>2,278,749</b>	<b>2,681,715</b>	<b>402,966</b>	<b>17.7</b>	<b>829,188</b>
<b>II 固定負債</b>					
1. 退職給付引当金	192,679	135,229	△57,450	△29.8	179,844
2. 役員退職慰労引当金	49,960	46,630	△3,330	△6.7	52,250
<b>固定負債合計</b>	<b>242,639</b>	<b>181,859</b>	<b>△60,780</b>	<b>△25.0</b>	<b>232,094</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,521,388</b>	<b>2,863,575</b>	<b>342,186</b>	<b>13.6</b>	<b>1,061,283</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	589,125	589,125	—	—	589,125
2. 資本剰余金	543,708	543,708	—	—	543,708
3. 利益剰余金	1,336,614	1,416,793	80,178	6.0	1,704,746
4. 自己株式	△4,023	△4,306	△282	△7.0	△4,023
株主資本合計	2,465,424	2,545,321	79,896	3.2	2,833,556
<b>II 評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	22,608	△8,062	△30,670	—	20,648
評価・換算差額等合計	22,608	△8,062	△30,670	—	20,648
<b>純資産合計</b>	<b>2,488,032</b>	<b>2,537,258</b>	<b>49,225</b>	<b>2.0</b>	<b>2,854,204</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,009,421</b>	<b>5,400,833</b>	<b>391,412</b>	<b>7.8</b>	<b>3,915,487</b>

## 2. (要約) 四半期損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	増減		〈参考〉前期 (平成19年6月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>I 売 上 高</b>	1,446,480	1,524,120	77,640	5.4	5,055,628
II 売 上 原 価	1,191,466	1,214,194	22,727	1.9	3,917,873
<b>売 上 総 利 益</b>	255,013	309,926	54,912	21.5	1,137,754
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	648,282	689,558	41,275	6.4	915,054
<b>営 業 利 益</b>	△393,269	△379,632	13,637	3.5	222,700
IV 営 業 外 収 益	5,842	6,307	464	7.9	7,221
V 営 業 外 費 用	5,254	5,184	△69	△1.3	5,316
<b>経 常 利 益</b>	△392,680	△378,509	14,171	3.6	224,606
VI 特 別 利 益	—	28,381	28,381	—	1,557
VII 特 別 損 失	1,977	—	△1,977	—	2,381
<b>税引前当期純利益</b>	△394,658	△350,127	44,531	11.3	223,781
法人税、住民税及び事業税	19,310	19,482	172	0.9	107,648
法人税等調整額	△147,888	△132,619	15,268	10.3	14,082
<b>四半期(当期)純利益</b>	△266,080	△236,990	29,090	10.9	102,050

## (3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期 (自 平成18年7月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年6月30日残高	589,125	543,708	1,640,927	△3,635	2,770,125	27,340	27,340	2,797,465
当四半期変動額								
剰余金の配当			△38,231		△38,231			△38,231
四半期純損失			△266,080		△266,080			△266,080
自己株式の取得				△388	△388			△388
株主資本以外の項目の当四半期変動額						△4,732	△4,732	△4,732
当四半期変動額合計	—	—	△304,312	△388	△304,700	△4,732	△4,732	△309,432
平成19年3月31日残高	589,125	543,708	1,336,614	△4,023	2,465,424	22,608	22,608	2,488,032

当四半期 (自 平成19年7月1日 至 平成20年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年6月30日残高	589,125	543,708	1,704,746	△4,023	2,833,556	20,648	20,648	2,854,204
当四半期変動額								
剰余金の配当			△50,962		△50,962			△50,962
四半期純損失			△236,990		△236,990			△236,990
自己株式の取得				△282	△282			△282
株主資本以外の項目の当四半期変動額						△28,710	△28,710	△28,710
当四半期変動額合計	—	—	△287,952	△282	△288,234	△28,710	△28,710	△316,945
平成20年3月31日残高	589,125	543,708	1,416,793	△4,306	2,545,321	△8,062	△8,062	2,537,258

(参考) 前期 (自 平成18年7月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年6月30日残高	589,125	543,708	1,640,927	△3,635	2,770,125	27,340	27,340	2,797,465
当期変動額								
剰余金の配当			△38,231		△38,231			△38,231
当期純利益			102,050		102,050			102,050
自己株式の取得				△388	△388			△388
株主資本以外の項目の当期変動額						△6,692	△6,692	△6,692
当期変動額合計	—	—	63,819	△388	63,430	△6,692	△6,692	56,738
平成19年6月30日残高	589,125	543,708	1,704,746	△4,023	2,833,556	20,648	20,648	2,854,204

## (4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	<参考>前期 (平成19年6月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 税引前四半期 (当期) 純利益	△394,656	△350,127	223,781
2. 減価償却費	59,344	73,376	81,331
3. 賞与引当金の増減額	112,465	202,398	—
4. 未成業務支出金の増減額	△1,611,716	△1,873,021	△12,795
5. 仕入債務の増減額	190,110	206,289	24,771
6. その他	△375,670	△281,871	45,000
小 計	△2,020,125	△2,022,955	362,089
7. 法人税等の支払額	△109,219	△109,838	△110,068
8. その他	△3,792	△3,332	△2,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,133,136	△2,136,126	249,925
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 有形固定資産の取得による支出	△43,087	△191,004	△51,037
2. 子会社株式の取得による支出	—	△3,000	—
3. その他	△4,913	△12,884	11,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,000	△206,888	△39,845
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 短期借入金の純増額	1,200,000	1,200,000	—
2. 自己株式の増減額	△388	△282	△388
3. 配当金の支払額	△37,980	△50,507	△38,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,161,631	1,149,209	△38,528
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	40	△165	78
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	△1,019,466	△1,193,970	171,629
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,494,080	1,665,710	1,494,080
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	474,614	471,739	1,665,710